

ユーザ連携・循環進化検討タスクフォース 設立について

テストベッド分科会長

名古屋大学未来社会創造機構 河口 信夫

2020年度までのテストベッド分科会の活動内容

【テストベッド分科会の目的】

分科会は、IoT・ビッグデータ(BD)・人工知能(AI)等に関する、技術実証・社会実証を促進する**テストベッドの要件とその利活用促進策**の検討を行うことを目的とする。

【活動内容】

○テストベッド分科会

分科会活動における検討状況の報告、活動に関連する事例紹介やディスカッションを行うオープンな会合。

○コアメンバ会議

コアメンバ(実作業の負担に協力いただける方)を中心として分科会よりも深い検討、議論を行うための場。

○検討会／意見交換会

特定のテーマについて関係者で検討を加速させるための場。2020年度の主なテーマは以下。

- (1) 次期ネットワークテストベッド検討WG
- (2) データ分析・可視化タスクフォース
- (3) NICT総合テストベッド活用研究会(活用研究会)
- (4) キャラバンテストベッド
- (5) LPWAテストベッド

これまでのテストベッド分科会の進め方

テストベッド分科会は、**オープンな会**として多様な参加者を期待

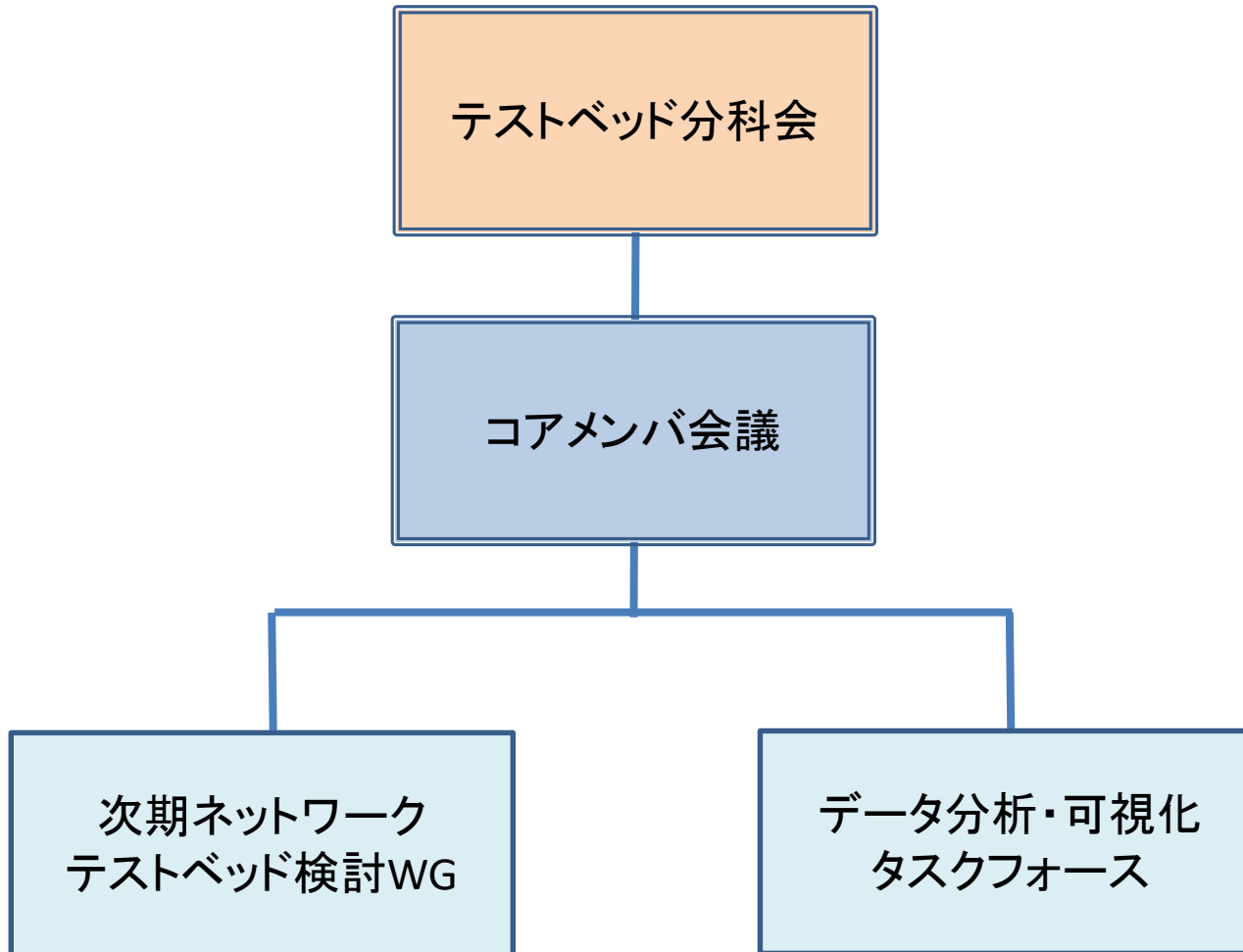
テストベッド分科会

- テストベッドに関する新技術・必要な機能等に関する意見交換・広報
- テストベッド利用者による成果報告等

コアメンバー会議

- テストベッドに対する利用者のニーズを汲み取る
- 利用者相互の意見交換の場として活用
(IoTテストベッド構築に対し一定の役割は終わった)

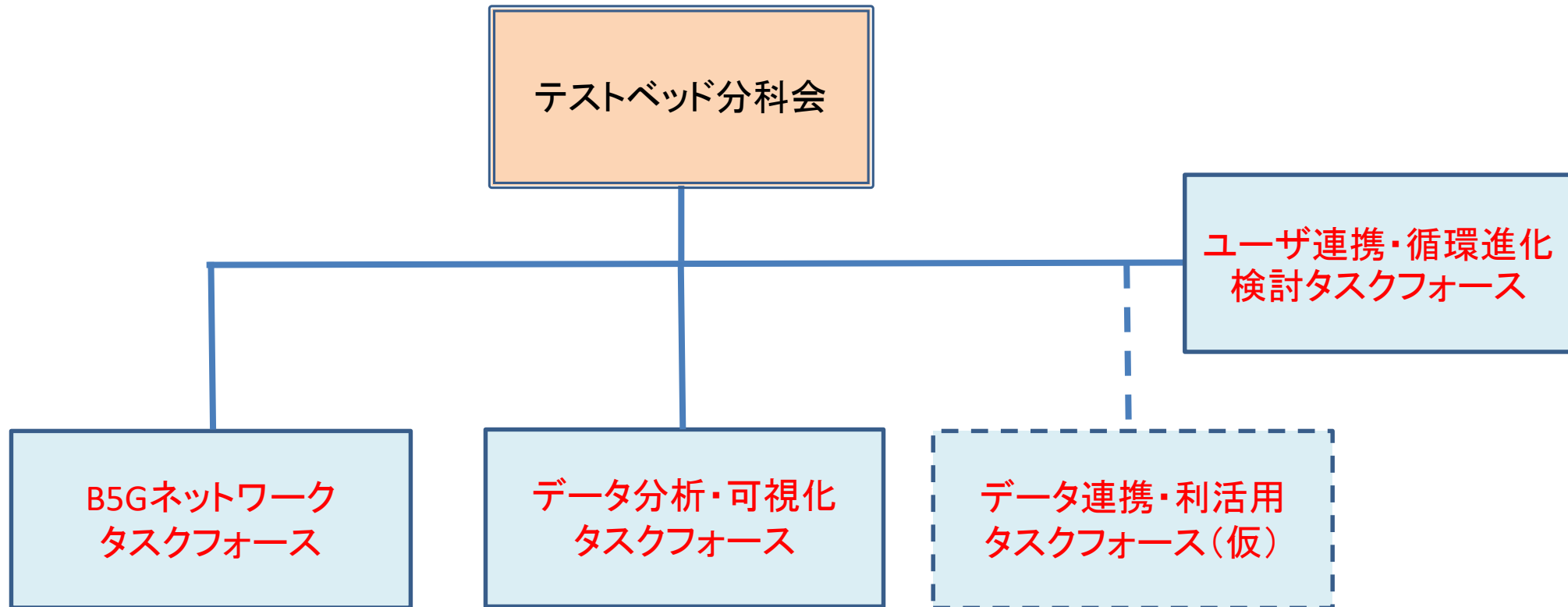
2020年度テストベッド分科会 検討体制



2021年度テストベッド分科会活動方針【検討体制(案)】

新体制

- 「コアメンバ会議」に代わり「ユーザ連携・循環進化検討タスクフォース」を新設
- テストベッドに実装すべき機能を見据えた「タスクフォース」を設置し、検討を促進



※「データ連携・利活用タスクフォース(仮)」は、WSを開催しニーズ・必要性等を確認した上で立上げ

2021年度テストベッド分科会活動方針【検討体制(案)】

会議体	目的	リーダー	メンバ	会合頻度	
テストベッド分科会	テストベッドの在り方を議論	名古屋大学 河口教授	-	2回/年	
タスク フォース	ユーザ連携・循環進化 検討タスクフォース	テストベッド利用者間の連携促進及び、テストベッドの循環進化創出の検討	名古屋大学 河口教授	TB利用者等	随時
	B5Gネットワーク タスクフォース	B5G時代に向けたネットワーク テストベッドの在り方を検討	今後検討	今後推薦・募集	2回/年
	データ分析・可視化 タスクフォース	テストベッドに実装すべきデータ 分析・可視化機能を検討	名古屋大学 河口教授	現行メンバ 及び随時推薦・ 募集	随時
	データ連携・利活用タ スクフォース(仮)	テストベッドにおけるデータ連 携・利活用の在り方を検討	今後検討	推薦・募集を想 定	2回/年

ユーザ連携・循環進化検討タスクフォース設立趣旨

- 背景:

- 利用者相互の意見交換の場を求める声
- Beyond 5G時代の研究開発促進に資するテストベッドのニーズの汲み取り

- 目的:

- テストベッド利用者及び関係プレイヤー間での連携促進及びテストベッド利活用ノウハウ等の共有
- テストベッドの循環進化を創出するための検討を通じ、Beyond 5G時代の研究開発推進に寄与

⇒「提案・提言」としてまとめる

第1回ユーザ連携・循環進化検討タスクフォース

- 内容:

- Beyond 5G時代のテストベッドと、本タスクフォースの設立趣旨について
- 第1回はBeyond 5Gのインフラとして期待されるエッジコンピューティング技術にフォーカス
- エッジ分野の研究においてNICT総合テストベッドを利用しているユーザから、役だった点、要望等を発表
- NICT総合テストベッドの新機能として2021年6月に提供を開始したエッジテストベッドの概要を紹介

ユーザ連携・循環進化検討タスクフォース 今後の予定

- 今後の会合の進め方
 - 今年度下期に2回程度
 - 取り上げて欲しいテーマ